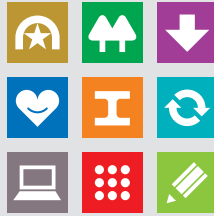


技術展示



注目技術賞審査委員長
小島 優
[近畿地方整備局 企画部長]

「建設技術展2023近畿」では、時代のニーズに応えた「防災」、「維持・更新」、「DX・ICT」、「環境」など9つの分野を掲げ、それに対して231の出展者から276ブースにて様々な建設技術の展示・紹介が行われ、来場者が1万7千人を越し、会場は大変活気あふれる2日間でした。

本技術展では、技術の展示だけではなく、「土木の魅力向上」に関するシンポジウム、「若手技術者が考える未来のすがた」や「関西のインフラ強化」に関するパネルディスカッションなど、関西の未来の発展につなげるイベントが開催され、「インフラDXコンペ発表会」ではインフラ分野のDXに資する先進的な技術を紹介いただくなど、建設産業の分野が明るい未来を切り開いていく期待膨らむような内容が来場者に向けて情報発信されました。

今回の注目技術賞には、コンクリート舗装メンテナンスに関する技術、VRにより点検技術を取得する人材育成ツールの技術、カーボンニュートラルに取り組む技術などが選定されました。審査委員特別賞では、現場作業の改善・安全性の向上についてAI技術を活用した技術、建設分野以外の産業分野で実用化されている技術等が選定されました。また、来場者の投票により選ばれたベストブース賞は、来場者の関心を集める工夫を凝らした展示となっており、大変感心いたしました。その他、惜しくも受賞を逃した技術の中にも注目すべき価値のある技術が多数見受けられました。

関西では大阪・関西万博開催や北陸新幹線延伸など大きなインフラ分野に関わるイベントやプロジェクトが目白押しとなっております。今後も建設技術展で進んだ交流を活かし、産学官が連携して建設技術の開発や新技術の社会実装に取り組み、元気で安全・安心な国土の発展に貢献することを期待いたします。

注目技術賞



展示された技術の中から、「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から公共事業の事業主体者が審査選定した“注目すべき技術”に贈られます。

審査委員特別賞

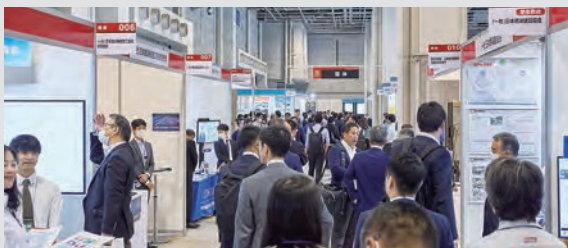


審査員による投票で、注目技術賞に選ばれなかったものの、技術の独創性やアイデア、先進性など今後、期待される技術について、審査委員会が特別に推薦したものに贈られます。

ベストブース賞



一般来場者に最も関心の高かったブースに投票していただき、得票数が最も多かったブースに贈られます。



注目技術賞



(株)ガイアート

維持・更新

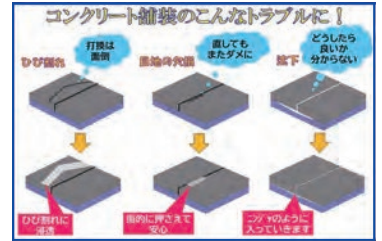
常温型コンクリート舗装補修材【ニンジャシール】

【令和3年度 国土交通省「橋梁伸縮装置止水部の補修に関する技術」に選定】

■ひび割れ補修／高い流動性でひび割れに浸透

■段差・角かけ補修／今まで打ち替えるしかなかった段差補修も短時間で施工可能

■目地部の損傷補修／表面、ひび割れ、角かけ、目地、空洞と一度に補修が可能



1缶に必要な材料がすべて入ったキットとなっています

Tel 06-6446-5880 <https://www.gaeart.com/>

審査委員特別賞



三重塗料(株)

維持・更新

錆進行抑制防水型蛍光クリ樹脂防食塗装システム「クリスタルジェリー工法」

「クリスタルジェリー工法」は、透明性を持つ特殊クリアシリコン樹脂塗料を採用している事により、橋梁などの鋼・ゴム・コンクリート構造物躯体の目視確認と長寿命化によるLCC向上を実現。素地調整工は3種ケレン程度の処理で金属溶射やRc-1塗装系に並ぶ防錆力を発揮して、耐薬品性に優れ、飛来塩分や塩カルの蓄積に耐える事が出来る塗膜を形成するため対塩害性に優れています。ケレン後の鋼材面に直接塗布をして鋼材の目視確認が出来る標準仕様に加え、Rc-1塗装系や錆転換型防食塗装の塗面に塗布する事で橋梁の美観を保つ事も可能です。更にクリア塗装の課題点である塗り残しをブラックライトで発光させて確認が可能です。



Tel 0598-56-1311 <http://www.mietoryou.co.jp/>

審査委員特別賞



復建調査設計(株)

DX・ICT

都市のデジタルツイン構築とユースケース開発

高精度な3次元計測データを用いて作成された3D都市モデルに、災害リスク情報、人流情報、地域の観光資源などの情報を組み合わせることで、セマンティックなデジタルツインを構築。都市計画、交通・エネルギーインフラ、防災・減災対策などの事業領域においてユースケース開発を支援しています。今回は、広島駅周辺地区において、地域の持続的な発展や良好な環境づくりを目的に活動を行う、エリアマネジメント団体の合意形成・意思決定の円滑化をテーマに開発した『エリアマネジメント・ダッシュボード』について、事例を紹介します。



地域防災力向上を目的とした災害リスクの可視化

Tel 050-9002-1721 <https://www.fukken.co.jp/>